自己 実 現 2020

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

[2020年の幕開け]

明けましておめでとうございます。新しい年が幕を開け、72回生のみなさんにとっての勝負がいよいよ始まります。「**受験生**」という境遇は決して楽しいものではありません。それを楽しむだけの余裕があればいいのですが、たいていは心の中にふつふつと湧いてくる不安に打ち勝つために、悪戦苦闘していると思います。しかし、不安を感じない受験生はいません。不安と共存し、自分だけではなく誰もが感じていることだと達観できる受験生が合格に近づくのです。不安に押しつぶされた挙げ句の出願は、いろいろな意味で良い結果をもたらすことはありません。今こそみなさんの強い信念と「第一志望」への熱い思いが必要です。そして「**覚悟**」を決めてセンター試験に向かいましょう。

神戸高校での生活も残りわずかとなりました。みなさんを応援している家族や先輩・後輩に感謝の念を 抱きながら、何よりも自分のために、残された高校生活に全力を尽くしてください。

[センター試験プレテスト自己採点集計結果]

センタープレテストの結果は掲載しておりません

センター試験プレテストの自己採点集計がまとまりました。本日、個人成績票を返却します。今回の結果に一喜一 憂することなく、補うべき部分を今一度確認しましょう。本番でさらに飛躍できることを願っています。

「センター試験直前・各教科(科目)別アドバイス]

今回は、週末に迫った本番に向けてのアドバイスを各教科(科目)の先生方からいただきました。よく読んで、頭と心の準備をしておきましょう。

〈国語〉

残された時間の取り組み次第で効果を上げることができるのは、古典分野。特に漢文の「句法」の最終確認を。古文は単語力の強化と、「敬語法」や「識別に必要な基本文法」。現代文の漢字・語彙も含め、知識問題は早く正確に解けるように総復習しよう。

並行して、これまで通り毎日演習を続ける。本文中に明確な解答の根拠を持って解答を考えることが 大切。センター試験形式の問題を解く勘を鈍らせないようにしよう。

【当日の心得】

- ① 時間配分に注意せよ!
- ③ 読みながら書き込め!
- ⑤ 語句・文法の力で確実に得点せよ!
- ⑦ 自分の読み取りを信じろ!
- ② リード文と注は大ヒント!
- ④ 設問の意図を正確に把握せよ!
- ⑥ 長い選択肢は攻略ポイントを絞れ!
- ⑧ 迷ってもとりあえずマークせよ!

〈数学〉

●科目選択を間違えないこと。

まず、絶対に気をつけないといけないことは、「数学 I・A」と「数学 I」、「数学 II・B」と「数学 II」 の科目選択を間違えないことである。何度も言われて、模試では間違っていないのに、当日は極度の 緊張のため、間違ってしまう受験生が毎年必ずいる。自分は大丈夫と思っている人ほど注意!!

●定義・用語や公式を確認し、確実にモノにしておく。

「公式は導けばいい」などという安易な態度は、時間のロスにつながるので、しっかりと身につける。

●不安な分野を、1週間の集中学習で解消する。

強い不安を抱えた分野があっては気持ちも落ち着かず、その影響は試験全体に及ぶかもしれないので、「じっくり」ではなく、「一気に」集中して1週間取り組むのも一つの方法である。

●試験前日は、勘をにぶらせないように準備する。

全般にわたる知識の確認とともに、いくつかの問題を実際に解いてマークする。

●試験当日は、自分のノートなどを持参する。

自分で知識をまとめたノートや苦手な分野の公式を覚えるためのメモなどがあれば、それも持っていると自信につながる。

●ある設問がわからないからといって、そのあとの設問を安易にあきらめてはいけない。

センター試験の設問間のつながりは、国公立大2次・私立大の出題とはかなり違っている。センターでは、必ずしも設問がつながっているとは限らない。

●問題用紙の余白の使い方を計画的にする。

図は必要な範囲でコンパクトに、計算も丁寧に整然と書く。行った計算をわかりやすく残しておくことは、計算ミスを防ぐことにもつながる。

■『数学 I A』のポイント

「データの分析」では、用語、定義、公式を確認。分散・共分散・相関係数の定義の式は大丈夫ですか。 データの変換 Z=aX+b としたときやデータを追加・削除した後の分散、共分散、相関係数がどのよう に変わるかもよく聞かれます。「場合の数と確率」は、その問題の設定・ルールを正確に理解して順に進めることが大事です。そのルールに入り込めば解法は見えてきます。最後は、条件付き確率がよく問われます。条件の事象は何かを見極め、 $P_A(B)$ は、 $P(A\cap B) \div P(A)$ なので、この 2 つを落ち着いて 求めれば解決します。「図形の性質」は、方べきの定理・接弦定理・角の二等分線の定理・チェバ・メネラウスの定理がよく狙われます。次々と角や長さ・比が求まり追加していく構成なので、混乱したら改めてわかった数値で図を書き直すと見えてくることがあります。「整数の性質」は、1 次不定方程式の整数解が頻出なので確認し、剰余類 (mod)、n 進法とユークリッド互除法も押さえておく。素数の性質や 2 つの数が互いに素の知識を使う問題をもう一度復習しておく。

■『数学ⅡB』のポイント

「三角関数」では、合成が頻出、ミスなくこなす、対数は、底の値による大小関係と底の変換公式が必須。「微積分」は、接線、増減を調べての最大・最小、面積が必須、いずれも計算力の見せ場です。「図形と方程式」や「ベクトル」では、図をしっかりと書き俯瞰して眺め、垂直や大きさ(距離)などに着目して式を立てる。「数列」は、等差、等比、 Σ 公式、部分分数分解、階差、S-rS、部分列(偶数項、奇数項を別々に考える)のうち、どれを使う問題かを見極めます。全体的には、行き詰まったときこそ、考えをリセットし、基本に戻って突破口をみつけ、頑張り抜いてください。

〈英語〉

プレテストでの時間配分はうまくいきましたか。もう一度、時間配分と自分にとって解きやすい順番の確認をしておきましょう。また、今回のプレテストに関しては、正答率が何パーセントであるのかということよりも、発見することができた「まだ覚えきれていなかった部分」に目を向けて見直しましょう。リスニングも、『どのタイミングで』問題冊子に書かれている英文に『どの程度』目を通しておくのかを再度確認しておいて下さい。

今から点数アップを目指すのに一番効率がよいのは第1問発音アクセント、そして第2問文法問題「頻出ルール別発音・アクセント」「スクランブル」を見直しておきましょう。今から新しい問題をどんどん解くよりは、これまでに解いた模試、実力考査等を中心に、自分が覚えきれていないものをチェックし直し、確実な点数につなげる方が効率的です。

そして、当日は「臨機応変」な対応を心がけてください!開始直後に全体の設問形式をすばやく把握して時間配分の微調整をしましょう。問題に少しの変化があったり、各設問に予定の時間以上かかってしまっても、決して焦らず着実に「取れるところを取る!」パニックになって途中から英文が全く頭に入らないよりは、数問手を付けられないものがあっても、落ち着いて解答する方がずっといいはずです。残り10日間、毎日長文を読み、リスニングのために耳慣らしをしておいて下さい。10~15分でいいので前日は必ず、できれば当日も少しでも英語を聴いて欲しいと思います。とにかく英語から離れないことです。

本番までは、今までやってきたことの見直しに徹してください。「センター試験直前演習(第6回まで)」やプレテスト、マーク模試、問題集(リードα)などで間違った問題や教科書で「?」と思うことについて、解説や教科書などをよく読んで消化しておくことが肝心です。原子分野は基本的な事項を教科書で押さえておきましょう。本番では、時間配分を考えながら、解ける問題から確実に解きましょう。大問1(小問集合)や得意分野の問題ばかりに気をとられない(時間を使わない)ように気をつけてください。早とちりや計算ミス、マークミスには細心の注意をしてください。

〈物理基礎〉 本番までは,「センター試験直前演習(第 10 回まで)」やプレテスト,マーク模試,問題集(ベストフィット)や授業で配布したプリントなど,今までやった問題の見直しを中心に学習してください。本番では,問題文をしっかりと読み,早とちりや計算ミスに気をつけて,解ける問題から確実に解きましょう。

《化学》 冬休みに入る前に配布した最重要物質プリントを含めて、教科書後半の無機・有機・高分子の範囲の暗記すべき物質の化学式 (イオン式)・性質・反応等が頭の中で整理された状況になっているでしょうか。プレテストや直前演習 (6回分)の自己採点で判明した弱点分野はすぐに補強しましょう。本番直前で最も効果的に総得点 UP が期待できる勉強となるはずです。大問1と2の理論分野では過去に手間のかかる計算問題が出題されたことがあります。少し考えても解法の道筋が見えない問題は潔く後回しにして時間配分を間違えないようにしましょう。

<u><化学基礎></u>プレテストや直前演習(10回分)の自己採点で判明した弱点分野はすぐに補強しましょう。また、必ず本番までに教科書中の覚えておくべき項目をサラッと見直ししておくこと。化学基礎でも過去に結構手間のかかる計算問題が出題されたことがあります。少し考えても解法の道筋が見えない問題は潔く後回しにして時間配分を間違えないようにしましょう。

〈生物〉+〈生物基礎〉

睡眠時間の確保と体調の管理。そして,直前にするべきは基礎基本の確認です。直前演習,教科書, 大学入試の得点源を使って全体を確認する。さらに試験までの時間を有効に使い苦手な分野や計算問題,過去に間違った問題をもう一度チェックすると安心です。最後の最後まであきらめずに努力を続けましょう。当日は手のひらを自分に向けて外科手術開始前のポーズで心を落ち着け,出題者の意図を見抜きながら問題文をしっかり読み試験に臨んでください。

〈世界史〉

- 「用意をしてください」と言われる直前まで勉強する。
- ・(解いていて、もし迷ったら) 用語に下線を引いてみる。重箱の隅はつつかれない。
- 地名・時期を再確認。
- ・開始直前のシーンとした時間に、呼吸法。姿勢を正し、しっかり息を吐いて、足の裏から息を吸い 上げてくる(イメージ)。

〈日本史〉 しっかり食べる。しっかり寝る。そして法然の「専修念仏」のように集中して最後までしっかり勉強。苦手な時代・ブラインド分野を問題集の解説・教科書・図説等で解消する。

本番当日は、明治期の~・大正期の~など時代等に留意して問題文をしっかり読む。早合点しない。健闘を祈っています。

<u>〈地理〉</u> センタープレを見る限り、まだまだ成長の余地があります。冬休み前に配った「世界の国一覧」の項目は大丈夫ですか? 今はできてない分野を覚えることが大事です。今まで解いたセンターの問題(13~18 年)と同じような問題が出たら、必ずできるようにしましょう。そのためにはもう一度エクセル表を見て、自分ができなかった問題が今は簡単に解けるかを確認しましょう。新しい問題集を解くことはお勧めしません。目標点に届かなかった人は振り返りが大事です。

当日の注意事項は、まずは「地理 B」にマークをすること。地理はとにかく時間がかかりますから、できる大問からやりましょう。できたら第 1 問から第 6 問までの問題を全部見てください。ある程度の難易度を見て、第 6 問からやってみるのも一つの方法です。ここ 5 年ほどは第 6 問が非常に易しいです(一問は超難問ですが)。二年間このセンター試験のためにも授業をしてきました。大丈夫です。健闘を祈ります。

〈政治経済〉問題演習を嫌というほどこなしてきて、苦手分野の把握はできているはず。そこを再度見直 そう。教科書レベルの知識を基礎に、様々な推論ができれば道は開ける。知識を問われる問題ばかり ではないので諦めないように。

<u>✓倫理</u>としつかり食べる。しつかり寝る。そして法然の「専修念仏」のように集中して最後までしっかり勉強。センター倫理出題5分野の苦手・ブラインド分野を問題集の解説・教科書・図説等で解消する。本番当日は、問題文をしつかり読む。早合点しない。健闘を祈っています。

[後記]

「備えあれば憂いなし」という諺があるように、事前の入念な準備は欠かせませんが、人生何が起こるかわかりません。センター試験では、病気や負傷、その他やむを得ない理由で試験を受験できなかった場合は、追試験が受けられます。追試験は1/25(土)・26(日)に大阪大学医学部試験場(西日本地区)で実施されます。申請方法等は、「受験上の注意」に記載されています。事前に確認しておきましょう。